

平成 27 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	英語 B	担当教員	佐竹直喜		
学年学科	1 年 全学科	通年	必修	2 単位	
学習・教育目標	(C-2) 100%				
<b>授業の目標と期待される効果：</b>  英語コミュニケーション能力の基礎となる英文法と語彙の定着を目指す。また、比較的容易な英文を多量に読む多読活動を取り入れ、英語のインプット量を増やし、英文の内容を読み取る力を養成する。  ①英文法の知識を深める ②語彙を増強する ③長文の内容を読み取ることができる ④学習した語彙・文法事項を基に、基礎的な英文を書くことができる		<b>成績評価の方法：</b> 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋小テスト・課題 80 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋小テスト・課題 80 点 学年：前期・後期の重みを等しくして合計し、得点率 (%) で成績をつける。  <b>達成度評価の基準：</b> 以下の項目に関する教科書レベルの試験・課題の総合点が 60%以上に達すれば合格とする。  ①文法知識 ②語彙力 ③文法知識と語彙力を基にした読解力 ④文法知識と語彙力を基にした英語作文力			
授業の進め方とアドバイス：授業では、教科書と参考書に沿って文法事項を学習する。授業には必ず英和辞書を持参すること。指示された予習は必ず行い、わからない単語は辞書で調べてから授業に臨むこと。各授業の復習を欠かさず行い理解できていない点は、後回しにせずその都度教員に質問するようにして、理解と定着に努めること。					
教科書および参考書：総合英語エイブル, able English Grammar 27 Lessons, able English Grammar 27 Lessons Workbook					
授業の概要と予定：前期					AL のレベル
第 1 回：授業概要の説明					
第 2 回：文の種類					B
第 3 回：文型①					B
第 4 回：文型②					B
第 5 回：時制①					B
第 6 回：時制②					B
第 7 回：時制③					B
第 8 回：中間試験					
第 9 回：完了形①					B
第 10 回：完了形②					B
第 11 回：助動詞①					B
第 12 回：助動詞②					B
第 13 回：助動詞③					B
第 14 回：受動態①					B
第 15 回：受動態②					B
期末試験					
第 16 回：フォローアップ（期末試験解答解説など）					

授業の概要と予定：後期	ALのレベル
第17回：不定詞①	B
第18回：不定詞②	B
第19回：不定詞③	B
第20回：不定詞 Further Study	B
第21回：動名詞①	B
第22回：動名詞②	B
第23回：分詞①	B
第24回：中間試験	
第25回：分詞②	B
第26回：分詞 Further Study	B
第27回：比較①	B
第28回：比較②	B
第29回：比較 Further Study	B
第30回：関係詞①	B
第31回：関係詞②	B
期末試験	
第32回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 （優）	標準的な到達 レベルの目安 （良）	未到達 レベルの目安 （不可）
①	語彙力に関する問題を正確に（8割以上）解くことができる	語彙力に関する問題をほぼ正確に（6割以上）解くことができる	語彙力に関する問題を6割以上解くことができない
②	文法知識に関する問題を正確に（8割以上）解くことができる	文法知識に関する問題をほぼ正確に（6割以上）解くことができる	文法知識に関する問題を6割以上解くことができない
③	文法知識と語彙力を基にした読解力に関する問題を正確に（8割以上）解くことができる	文法知識と語彙力を基にした読解力に関する問題をほぼ正確に（6割以上）解くことができる	文法知識と語彙力を基にした読解力に関する問題を6割以上解くことができない
④	文法知識と語彙力を基にした英語作文力に関する問題を正確に（8割以上）解くことができる	文法知識と語彙力を基にした英語作文力に関する問題をほぼ正確に（6割以上）解くことができる	文法知識と語彙力を基にした英語作文力に関する問題を6割以上解くことができない